

平成26年7月 定例教育委員会

日 時 平成26年7月22日（火）
10時00分～

場 所 市役所11階 研修室

出席者

（教育委員）

久田委員長 深町委員 合田委員 内海委員 永元教育長

（事務局）

百津教育次長兼学校教育課長 久家教育次長 友永総合教育センター長兼総合教育センター課長 大藤総務課長 金子教育センター所長 小田社会教育課長 吉富スポーツ振興課長 吉田学校保健課長 犬塚青少年教育センター所長 吉住公民館政策課長 阿比留総務課長補佐兼庶務係長 宮崎総務課主任主事

内 容

(1) 委員長報告

(2) 教育長報告

(3) 議題

なし

(4) 協議事項

① 佐世保市立幼稚園条例の一部改正の件（進捗状況報告）

(5) 報告事項

- ① 夏休み郷土教室について
- ② 夏休み図書館探検ツアーについて
- ③ 夏休みお楽しみ会について
- ④ 少年補導委員報酬改正について

(6) その他

① その他（日程調整等）

◆ 委員長報告

- 7月 1日 名誉市民選考委員会
- 7月 2日 佐世保市議会6月定例会本会議
- 7月 3日 学校訪問A（猪調小）
- 7月 3日 江迎地区公民館視察
- 7月 9日 学校訪問A（中里小）

- 7月 9日 前期教育委員会
- 7月14日 学校訪問A（鹿町中）
- 7月14日 教科書採択審議会
- 7月15日 学校訪問A（吉井南小）
- 7月15日 吉井地区公民館視察
- 7月21日 佐世保市少年ソフトボール大会開会式

◆ 教育長報告

- 7月 1日 佐世保史談会面談
- 7月 1日 県立高校教職員との意見交換
- 7月 3日 山手っ子通学合宿開所式
- 7月 6日 少年の主張大会
- 7月 7日 サマーレビュー
- 7月 9日 第1回いじめ等対策連絡協議会
- 7月10日 基地内大学選考委員会
- 7月11日 小中学校副校長教頭研修会
- 7月11日 幼児教育センター運営委員会
- 7月14日 学校訪問A（鹿町中）
- 7月14日 教科書採択審議会
- 7月15日 広田地区市政懇談会
- 7月16日 針尾地区要望面談
- 7月16日 第2回都市教育長協議会
- 7月17日 第1回いじめ防止対策推進委員会
- 7月18日 ねこ歩き展開会式
- 7月20日 させぼボートフェスティバル
- 7月21日 佐世保市少年ソフトボール大会開会式

◆ 委員長報告・教育長報告に関する質疑・意見等
特になし

～ 以下、事務局から内容の説明を行ったが、その部分は記載していない。～

◆ 協議事項

- ① 佐世保市立幼稚園条例の一部改正の件（進捗状況報告）
 - ・子ども子育て3法の施行に伴い幼稚園の保育料について必要な改正を行うもの

【委員長】 前々から、公私立の幼稚園を差別なく同じ料金体制にするという話は、いただいていたところである。しかし、例えば、幼稚園就園奨励費は以前教育総務課で支給していたも

のが、子ども未来部の創設によってどうなったのかなど、教育委員会と子ども未来部とのかかわり方が少し理解しづらい。

【事務局】 子ども未来部創設に伴い幼稚園の運営に関しては、補助執行をお願いしている状況にあるものの、所管はあくまで教育委員会であることから、幼稚園の保育料については、教育委員会で決定していかなければならない。現条例では、料金等諸々の条項が定められているが、これを規則の方に移して少しスッキリさせたいという方向で検討している。検討にあたっては、幼稚園の規則の中で謳い込むものなのか、子ども未来部が定める規則を見に行くようにするのかという2種類の方法があるので、そこがまだ決まっていないという状況である。

【教育長】 委員長がお尋ねの就園奨励費に関しては、ご指摘のとおり以前は教育委員会総務課で取り扱っていたが、今は子ども未来部に予算化してもらっている。これは、一つのまとまりができたという意味でよかったと思っている。ただ、この経費が、公私の料金格差を是正する目的があったため、今回の改正で公私が均一になれば制度自体が無くなるのではないかと考えている。

【委員長】 一応の予定として、この件は8月定例教育委員会で正式議案として提出されるのか。

【事務局】 議会との関係もあるので、そこまでには整理したいと考えている。

【委員長】 その他質問がなければ、事務局で一定の整理を行い、8月の定例教育委員会での議題提出をお願いします。

◆報告事項

①夏休み郷土教室について

【委員長】 郷土教室は、定員50名に対して、既に70名の応募があっている。超過人員の対応はどのようにするのか。

【事務局】 午前中の勾玉作りの参加は全員できるようにしたいと考えている。午後からの市内施設の見学がバス1台を借り上げている関係で50名までの抽選をおこないたい。

【委員】 参考までに、15歳以下は、バスの乗車定員が大人2人分を子ども3人で使えるようになっていると思う。それが良いかはわからないが、そうした対応は考えているのか。

【事務局】 定員については、座席数で考えている。

【委員】 兄弟で申し込んで、片方だけ当選するというようなケースも想定されるが、こうした場合の取り扱いが気になるところである。

【事務局】 そういった不平等感が無いように工夫したいと思っている。

【委員長】 応募者が70名ということは、相当人気の企画であると思う。夏休みでもあり、参加費も無料ということもあるが、抽選しなければならない原因になっているのはやはり予算。致し方ないところはあると思うが、不平等にならないように配慮しながら、実施してもらいたい。

②夏休み図書館探検ツアーについて

【委員長】 この企画は、先着15名しか対応できないのか。

【事務局】 今回案内する閉架書庫やコンピュータ室は、危険な部分もあり職員の目が届く範囲に絞らざるを得ないと考えている。案内には、館長、館長補佐、係長の3名で対応を予定しているので、一人当たり5名程度が限度ではないかと思っている。

【委員】 昨年も同企画を報告された際、すごい人気であると伺った記憶がある。周りの保護者からも抽選に漏れたとの声が多いので、今回実施に当たってどのくらいの人が漏れたかの報告を後日お願いしたい。また、来年は開催回数を増やす努力をしていただきたい。

③夏休みお楽しみ会について

【教育長】 今年のテーマが、「海のおまつりへようこそ」となっているが、何をやろうとしているのか。海に関する読み聞かせや工作をやるということか。

【事務局】 主な企画に2ℓのペットボトルを半分に切ったものへ、折り紙を使った海の生き物を入れてもらうというものがあり、それに因んだテーマを設定した。

④少年補導委員報酬改正について

【委員長】 千円とか500円とかいう金額はどこかに定めてあるのか。青少年教育センター独自に設定したというものか。

【事務局】 補導報酬の千円、500円というものについては、センター独自に定めたものである。

【委員長】 予算要求の時に、額が決まればこの制度は実施できるということか。
千円、500円は内規として定めているということによいか。
それから、教員に対しては、学校長に直接言うべきである。校長会を通してなどということではなく、直接言わないと出てこない。補導業務に教職員が出てこないと周りの補導員への失望が大きい、まずは教職員が積極的に出ることが肝要である。

【事務局】 了解した。

【委員】 補導員は何名いるのか。

【事務局】 238名である。ただ、今回は欠員が13名あるため、実質225名となっている。

◆その他

【委員】 報告です。7月4日に学校図書ボランティアネットワークの講演会を社会教育課のお手伝いを頂きながら、佐世保市立図書館で開催しました。40名の参加見込みに対して81名の参加がありました。図書館司書2名から読み語りのスキルと著作権についての講演がありました。駐車場の件で苦情が来るかと思ったが、街の中心部にあり来やすかった、次回も教育センターではなく図書館で開催してほしいとの声があります。また、前社会教育課長がボランティアとして参加されていました。

【委員長】 その他何か報告はないか。

【事務局】 清水地区公民館には、館長1名と2名の嘱託職員がいますが、そのうちの嘱託職員1名が自己都合で8月末をもって退職します。これに伴い7月18日から8月18日まで後任を募集することとしておりますので、ご報告します。

その後、次回開催日程を決定し、終了となった。

— 了 —